

未来のゴルファーを育てる「コミュニティゴルフ」が日本で始動



コミュニティゴルフへの思いや展望を語る 鹿沼グループ代表取締役 福島氏

—— まず、鹿沼グループが「コミュニティゴルフ」に携わったきっかけをお話ください。

福島 これからゴルフ人口が減っていくという局面の中でゴルフ場自体がオーバーストアになっています。そのゴルフ場を次世代に向けてどう活用していくかということを我々はテーマとして抱えていました。ゴルフ場を未来のゴルファーを生み出す施設に変えていくかという発想で探索、研究していく中でR&Aが英国のグラスゴーに「GOLF IT!」というゴルフ未経験の親子がゴルフに触れ合える施設をつくったという情報を知りました。早速JGAの山中博史専務執行役に現地見学を依頼。後日、R&Aアジア責任者のジェローム氏が来日すると聞き、お会いしたのが2024年4月です。同年7月にグラスゴーまで見学に行かせていただきました。

JGAはゴルフ普及の新たなモデルケースとして栃木県内で3カ所のゴルフ場を運営する鹿沼グループと栃木県鹿沼市の協力のもとR&A公認の「コミュニティゴルフ」パイロット版をスタートさせた。初めてゴルフに触れる子どもたちのためのプログラムで実施されるのは日本で初めて。実施までの経緯や今後の展開などを鹿沼グループ代表取締役の福島範治氏、鹿沼72カントリークラブ湯澤知支配人に聞いた。



—— グラスゴーで「GOLF IT!」の施設を見学していかがでしたか。

福島 当初は「GOLF IT!」をそのまま日本でできないかとR&Aと話しをしていましたが、施設づくりなどいくつかの点で難しそうだと判断しました。ただ、見学に行く前にジェローム氏に我々が日ごろ地域と共に取り組んでいるゴルフ振興活動や花火大会などをまとめた動画を見ていただき、「我々の考えとコンセプトが同じだ」と共感を得ていた経緯がありまして、「(GOLF IT!とは違う形でも)一緒にやろう」とお言葉をいただきました。

—— そのコンセプトとはどのようなものでしょうか。

福島 ジェローム氏はトーナメントだけでゴルフ振興を進めていくのではなく、一般の消費者に対してゴルフを届けていく時代になっていると言っていました。そこで3つのコンセプトが重要だと。一つ目がファミリー。家族をどう取り込んでいくかということ。二つ目はエデュケーション。いろんな教育という場面にゴルフが入っていけるかどうか。三つ目がコミュニティ、地域です。地域の中で草の根的に広げていく時代をつくっていくことだと。そして、話し合う中で「こういうプログラムはどうか」と紹介していただいたのが「コミュニティゴルフ」でした。



R&Aが英国で創設した子どもから大人まで楽しめるゴルフ施設「GOLF IT!」



鹿沼72CCで開催された小学生向けコミュニティゴルフ体験会。小学校の総合学習への導入を目標に掲げる



ナショナルチューター (CGI育成担当) 指導による、CGI資格認定の講習会

—— 「コミュニティゴルフ」とはどのようなものか、簡単に説明していただけますか。

福島 初心者の子どもの向けにつくられた用具を使用してさまざまなゲームを楽しみながらゴルフへの興味を持ってもらおうというプログラムです。昨年5月にジェローム氏が来日した時に鹿沼市とパイロット版導入に向けた協議を行って市からも賛同を得ることができました。JGAにも導入に向けてスタッフを紹介していただくなど一緒に動いていただいていた。そして6月にR&Aから「コミュニティゴルフ」のプログラムを受領し、始動に向けて本格的にスタートしたという流れです。

—— 始動に向けてはどのような準備が必要だったのでしょうか。

福島 「コミュニティゴルフ」を実施するにはコミュニティゴルフインストラクター (CGI) が必要です。そのCGIを養成するのがナショナルチューターという指導者です。まず、JGAの担当者がナショナルチューターの資格を取得。次にナショナルチューター指導の元、10月に鹿沼グループの社員10人が2日間の日程でCGI資格認定の講習会を受講し、全員合格することができました。

—— 社員10人はどのように選んだのですか。

福島 鹿沼72の湯澤支配人が選んでくれました。10人の中には私と湯澤支配人も入っています。

湯澤 選んだ基準は多少なりともゴルフの経験があるということです。あわせて子ども達に対して親しみやすさのあるスタッフで年齢は幅広く、20歳くらいから50歳くらいまで各年代から選びました。男女比率は男性6人、女性4人です。

—— 実際に講習を受けて、CGIにとって大事なことは何だと感じましたか。

湯澤 私は価値観ですね。エンパシー (気持ちに寄り添うこと)、インクルーシブ (誰でも安心して参加しやすくすること)、エンゲージング (夢中になれるよう工夫すること) という3つの価値観が講習会の資料に書かれていましたが、これはふだんの仕事にも通じる大事な点だと思います。

鹿沼72CCで行われたコミュニティゴルフ体験説明会。パッティングゲームなどで、未経験者もゴルフの楽しさを実感



鹿沼市を対象に行われた事前説明会。コミュニティゴルフを体験する参加者



自らCGIの資格を取得した鹿沼72CC湯澤支配人

R&A「コミュニティゴルフ」鹿沼市パイロットプロジェクト

1 Golfway 購入

コミュニティゴルフで使用する用具、R&A公認のGolfwayを購入。2025年10月に到着。



2 プログラム日本語版製作

R&Aから送られてきたCGI用など各種プログラムの日本語版を製作。

3 キャップ製作

CGI用(白色)、プロモーション用(紺色)のオリジナルキャップを製作。

4 CGI 養成

2025年10月30、31日の2日間でコミュニティゴルフインストラクター (CGI)養成のための講習会を実施して10人が合格。

5 鹿沼市への説明会

2025年10月30日に鹿沼市へコミュニティゴルフの概要などの説明会を開催。11月には地元自治会への説明会も実施した。



6 鹿沼市体験説明会

2025年11、12月に鹿沼市への体験説明会を計3回開催。鹿沼市長ら計50人が参加した。

7 小学生への体験説明会

2026年1月に鹿沼72CCで小学生向けの体験説明会を計2回実施。

—— 鹿沼市への体験説明会も実施していますが、反応はいかがでしたか。

福島 11月と12月に計3回体験説明会を実施しました。第1回には市長も参加してくださいました。現場でアンケートを実施し、参加者の中でゴルフ未経験やほとんどしないという方が約7割いたのですが、その方たちが楽しかったと回答してくれていました。ゴルフ未経験者が初めて本物のクラブで打つと、空振りばかりでつらいという方もいます。それが「コミュニティゴルフ」から始めるとほとんどの方が楽しいと。ゴルフのエッセンスもあるので、そこから裾野が広がっていく感じがありましたね。

湯澤 屋外だけでなく体育館でもできるというのが魅力だという声がありました。夏休みなど最近暑くて子どもの遊ぶ場所がないという問題があるのですが、冷房のある体育館に子どもたちが集まってできるという話もいただきました。

—— 市だけでなく地区ごとの自治会にも説明会を行ったようですね。

福島 はい。うちのゴルフ場がある地区の自治会の関係者に集まってもらって実施しました。我々は「コミュニティゴルフ」の小学校総合学習導入を目指しており、そのためには自治会や地域のみなさんにこの活動を応援していただける流れを形成していかないといけない。市からのアドバイスもありまして、自治会などにも丁寧に説明してファンをつくっていきこうとなりました。ある自治会からは3月に自治会主催のマルシェがあるのでそこで体験会をやってくれというリクエストをいただいています。

—— これからの予定はどのようになっていますか。

福島 2025年は準備期間としてCGIの養成やGolfwayという用具の準備などに充てさせていただきました。2026年から3カ年の事業計画を立てておりまして、それに基づいて進めていくつもりです。2026年は鹿沼市内でパイロット版を開始し、小学校の総合学習に取り入れていただくことが目標。まずは1月に鹿沼72カントリークラブで小学生向けの体験会を2回開催し、また2月に鹿沼72カントリークラブで開催した鹿沼キッズピッチコンテストでも「コミュニティゴルフ」の体験会を実施しました。鹿沼市の小学校でひとコマでも採用してもらえれば2027年には栃木県内のほかの自治体で展開していきたいと考えています。栃木県側にもそのことは伝えていきます。

—— そして2028年には全国展開を。

福島 JGAと一緒に少し大きく計画をつくりましたが、まず草の根的に鹿沼市で、それから栃木県でしっかりした形ができれば、他の都道府県の自治体でもやってみようというところが出てくるかもしれないと考えています。—— 「コミュニティゴルフ」は地元自治体との協力関係が不可欠です。鹿沼市との協力関係はどのように築いていったのでしょうか。

福島 先ほどもお話ししましたが、以前から花火大会など市と一緒にイベントに取り組んできたつながりは大きかったですね。それに、ギブアンドテイクを求めるのではなく、市のためにこういうことをやりますよという考えで動いてきましたから前に進みやすかったのだと感じています。

—— 新しい事業を始めると日々の仕事の中で人練りをする必要が出てくると思います。その点はどのように解決していきますか。

湯澤 鹿沼72カントリークラブは通常業務以外にいろんなことをやっていますので、新しいことを始めてもそれを許容できる風土ができあがっています。ですから、新しいことを楽しんでやってくれる人は多いです。ただ、通常業務が忙しくてできないということがないように周囲がしっかりフォローすることが重要ですね。

福島 わが社では20年近く新卒の採用を行っており、新しいことにチャレンジさせてあげることが若い社員の育成につながっています。一方で自動精算機の導入など省力化にも取り組んでいます。そこで生まれた余力を、未来を生み出す活動や付加価値、体験価値を生めるものに向けていくことも必要だと考えています。

—— 最後に「コミュニティゴルフ」に対する思いや将来的な展望をお聞かせください。

福島 JGAの定款の中でゴルフの普及・振興は一丁目一番地に入っています。ただ、ゴルフ場経営の側からすれば、どうしても営業が先で普及・振興は後になってしまいがちです。ですが、ゴルフ人口がピーク時の6割減とか、参加率が5%しかないといわれる中で我々としてもゴルフを始めるきっかけを提供し、将来のゴルファーをどう育成していくかが重要になってきています。そういう意味で「コミュニティゴルフ」は非常に意義があることであり、主体的に取り組むべき事業だと思っています。もうひとつ、我々鹿沼グループは地域の企業ですので、地域のお役に立ちたいというのが会社の経営方針にあるのです。ゴルフ振興掛ける地域創生のような活動が地域を豊かにしてくれたり、地元の方々が健康で長く暮らしていける社会をつくったりすることに貢献できるはず。小さな一歩ですが、景色が変わるものをつくれればゴルフ業界全体も変わっていくきっかけになるかもしれないと思っています。

コミュニティゴルフ概要説明

■ 背景と目的

少子高齢化、人口減少が進んでいる社会構造の中にあってゴルフが50年後、100年後にも愛され、プレーし続けられるスポーツにしていくことをテーマに、JGAはR&Aと共同でゴルフの普及と振興に取り組んでいる。今回、日本で初めてパイロット版を実施する「コミュニティゴルフ」は、未来のゴルファーを育てる普及・振興策の新たな一手だ。

■ ジュニアゴルフパスウェイと位置づけ

R&Aではジュニアゴルフ普及活動として「ジュニアゴルフパスウェイ」というプログラムをつくっている。このプログラムは「ディスカバー(発見)」「ローン・トゥ・プレー(習得)」「ディベロップ(発展)」という3ステップから成り、「コミュニティゴルフ」は最初のステップである「ディスカバー(発見)」にあたる。

R&A junior golf PATHWAY

内容	(発見) DISCOVER	(習得) LEARN to PLAY	(発展) DEVELOP
指導者	R&A認定 Community Golf Instructor (CGI)	PGA ティーチングプロ	PGA ティーチングプロ
道具	初心者子ども向け用具「Golfway」	段階的に通常のゴルフ用具へ	通常のゴルフ用具

コミュニティゴルフ

地域の様々な場所(学校や公園、公共施設などで)専用の用具を使って楽しくゴルフを体験

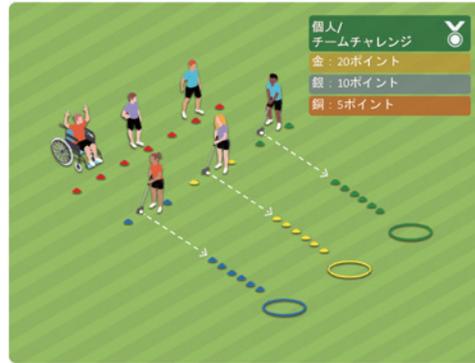
世界に広げるための具体的な仕組み

Community Golf Instructor (CGI) プログラム II 地域インストラクター育成制度

■ コミュニティゴルフの理念と特徴

「コミュニティゴルフ」は従来の18ホールにとらわれず、学校や公園、公共施設など、地域のさまざまな場所で多様なゴルフ体験を創出する取り組みであり、地域に根ざした人材育成と参加機会の拡大を通じて、ゴルフを「競技」から「文化」へと発展させる試み。この「コミュニティゴルフ」を世界に広げるための具体的な仕組みがコミュニティゴルフインストラクター (CGI) プログラムと呼ばれるものだ。

ドミノ



ボールを転がしてターゲットを狙うパッティングゲーム「ドミノ」。ルールはシンプルで、楽しみながらゴルフの感覚を学べる



R&A提供のCGI関連プログラムを基に、日本版の教材を作成



■ CGIプログラムと国際的展開

「コミュニティゴルフ」の運用はR&Aが認定するCGIによって展開される。R&AなどがCGIプログラムを開発したのが2023年のこと。翌2024年には英・アイルランド全域で本格展開し、現在は日本のほかタイ、マレーシア、オーストラリア、ニュージーランドでも試験導入中と世界的な広がりをみせつつある。CGIの資格は研修を修了すれば取得できる。CGIはプロコーチではなく地域、学校、公共施設、クラブなどで初心者や子どもにゴルフを教える地域インストラクターという位置づけ。アマチュア資格を保持したままボランティアとして活動できる仕組みを整えている。

■ 導入体制と鹿沼モデル

CGIプログラム導入にあたってはプロジェクトを実装する協力ゴルフ場と地方自治体が緊密に連携できる体制を整えることが重要。また、協力ゴルフ場にはジュニア普及の実績があり、R&Aとも円滑に協働できるような組織文化や体制が求められる。鹿沼グループは鹿沼市と連携しながら毎年ジュニア普及イベントを成功させている実績があり、R&Aからも高く評価された。パイロット版実施に向けてR&Aから助成金が支給されており、用具の購入費用などに充てている。

■ 使用用具「Golfway」

使用する用具はR&Aなどが開発したGolfwayと呼ばれるもので、子どもたちが楽しく、安全にゴルフを体験できるよう工夫された柔らかいクラブやボール。これらを使用したさまざまなゲームで遊びながら基本的なスイングやルール、マナーを学べる構成で、ゴルフ未経験の子どもでも気軽に参加できるようになっている。

■ 今後の展開

地方自治体、行政とゴルフ場が協働し、ゴルフをしたことのない子どもたちや親に遊びながらゴルフやゴルフ場に触れ合ってもらおうという新しい取り組みは日本のゴルフ界にとって素晴らしいプロジェクト。JGAではR&Aの支援を受けながらこの取り組みを広げていきたいと考えており、鹿沼市でのパイロット版が他の市町村でも広がり、行政とゴルフ場が組んでゴルフ振興を展開する動きが加速し、目標である小学校の総合学習への導入に向け注力していく。

コミュニティゴルフ体験会 2026
1月17日(土) 午後2時~4時
1月24日(土) 午後2時~4時
会場: 鹿沼72カントリークラブ
参加費無料
対象: 鹿沼市内の小学生および保護者1名
人数: 小学生20名 保護者20名
主催: 公益財団法人日本ゴルフ協会・鹿沼グループ・東北関東開発(株) 鹿沼72カントリークラブ
後援: 鹿沼市 鹿沼市教育委員会

地方自治体とゴルフ場が協働し、国内初となる小学生対象のコミュニティゴルフ体験会を実施

